

令和3年度第1回蟹江町総合教育会議 議事録

開催日時	令和3年7月9日（金）午前9時～10時
場 所	中央公民館 第3会議室
出席者等	町長部局：横江町長、政策推進室長、政策推進課長、同課主事 教育委員会：石垣教育長、森田教育長職務代理者、山田委員、佐藤委員、太田委員、教育部次長兼教育課長、同課主幹
報告者	政策推進室政策推進課
傍聴者	なし

○開会

1 あいさつ

（町長）

新型コロナウイルスの蔓延が落ち着いてきましたが、日本全体で見るとまだまだ沈静化には至っていない状況です。そのような状況の中、また大変お忙しい中、教育委員会の皆さまには、会議に出席いただきましたことに感謝を申し上げますとともに、平素は教育行政にお力添えいただいていることを重ねて感謝を申し上げます。

私事ではありますが、蟹江町長として5期目がスタートしました。まだまだたくさんの難題があるのは承知しておりますが、一つ一つ着実に前に進めていきたいと思っておりますので、ご協力いただければありがたいと思います。町長選挙がありましたので、3月は必要最低限の経費を計上した予算となりました。6月の補正予算については、特に教育に関することでいえば、トイレの改修工事が約1億円になります。これは国の補助をいただきまして、補正予算が通りました。臨時交付金もほぼ使いましたが、若干残っており、町のために使えるものがあるのではと政策推進課、ふるさと振興課、総務課も含めて精査している段階ですので、よろしく申し上げます。

教育につきましては、GIGAスクール構想が、本来、令和元年の補正予算で5年間かけて進めるという話でしたが、急遽1年間に変わりました担当課は大変だったと思います。タブレットは令和5年までのリースですが、小中学校1人1台ずつ配備することができました。ICTを活用した学習がスタートしていますが、先生の中には不得意な方もいらっしゃると思います。デジタル・ディバイトとって通信が使える世代と使えない世代がおりますので、その問題を解決することにもう少し時間がかかるのではないかと思います。3分の2がアナログで、3分の1がデジタルに切り替わったくらいですが、それでも進めていかなければいけない時代が来ているということを痛感しています。

最後に新型コロナウイルスワクチン接種の問題で、蟹江町は順調に接種が進んでおります。9月になるとワクチンの供給が不足するという情報もありますが、多分それは回避できるのではないかと思います。現在、国は需要と供給のバランスをとりながら、日本にどれだけのワクチンが供給され、あとどれくらい必要なかをしっかり数字化して進めていると聞いておりますので、町としても積極的に接種を進めていきたいと考えています。今後も皆さまのお力添えをいただくことがありますが、よろしく申し上げます。

(教育長)

改めまして、おはようございます。1学期の終業式が7月20日ということで、1学期は、あと10日ほどとなりました。昨年度を思い返しますと、4月と5月は休校でした。そして終業式が7月から8月になったかと思いますが、今年は7月20日ということで夏休みの期間を長く設けることができるようになりました。コロナ禍ではありますが、最近では保護者や学校の先生から、家族でPCR検査を受けたという話をあまり聞かなくなりました。子どもたちは新しい生活様式が身についてきて感染防止対策ができてきていると思います。一番気にしていたのは、修学旅行や野外学習といった宿泊を伴う学校行事についてです。緊急事態宣言中は難しいということで延期していましたが、中学校の修学旅行は無事2泊3日を実施することができました。野外学習も進んでおり、今日と明日に須西小学校が美浜へ、明後日、明々後日には新蟹江小学校が旭高原に行きます。GIGAスクール構想についてですが、一人一台のタブレットが整備されました。予算や費用面については、教育部次長から詳しく説明します。

2 報告事項

(1) 広島平和記念式典中学生派遣事業の中止について

(事務局)

広島平和記念式典に合わせ、毎年8月5日、6日の1泊2日で、蟹江中学校、蟹江北中学校から各5名の生徒を派遣する広島平和記念式典中学生派遣事業についてですが、新型コロナウイルス感染症の状況と、派遣する生徒の健康や安全面を考慮し、中止といたしました。来年度につきましては、安全に派遣できる状況となりましたら、事業を実施したいと考えております。

また、毎年図書館で開催している原爆パネル展ですが、今年度は、産業文化会館にて、戦争に関する品々と原爆パネルを同時に展示する平和祈念展を開催し、町民の皆さまに戦争の悲惨さや命の大切さ、平和の尊さについて考えていただく機会を提供してまいります。開催期間は、8月1日から20日までです。広島・長崎での悲惨な出来事を風化させないように、引き続き、平和行政に取り組んでまいります。

(2) まちづくりミーティングについて

(事務局)

まちづくりミーティングについてですが、例年6月に、蟹江中学校の2年生を対象に開催しておりますが、コロナの影響があるため、延期とさせていただきます。今後は、感染症の状況を注視して、開催について検討していきます。

(3) 中学生海外派遣交流事業の中止について

(事務局)

当町の姉妹都市である米国マリオン市へ、町内在住の中学生を派遣する中学生海外派遣交流事業についても、今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況と派遣する生徒の健康や安全面を考慮し、中止といたしました。来年度以降につきましては、安全に派遣できる状況となりましたら、事業を実施したいと考えております。

コロナ禍のため、渡航が難しい中、昨年は記念ベンチを贈り合うことで、コロナ後に再びマリオン市との派遣交流事業ができるように、マリオン市との縁を繋いでまいりました。今年度はビデオレターによる交流を考えております。

3 議題

(1) 教育委員会の主な予算について

(教育部次長)

施設整備事業について、新蟹江小学校のトイレ改修工事ですが、令和2年度の予算を繰り越して使い、金額は6,545万円です。中央階段の横にある、エレベーターの後ろのトイレを1階から4階まですべて改修します。男子の洋式トイレが全部で6基、うち2基がバリアフリートイレになり、女子の洋式トイレが全部で14基、うち2基がバリアフリートイレとなります。工期は夏場から11月までかかる予定です。蟹江北中学校のトイレ改修工事ですが、金額は7,535万円で、西側の階段横のトイレを1階から4階まで改修し、男子の洋式トイレが4基、女子の洋式トイレが16基となります。バリアフリートイレは男女で分けずに全部で4基設置します。工期は同じく11月までの予定です。この工事が終わりますと町全体の洋式率が50%を超えるくらいになります。

学校教育支援事業について、学校ICT機器借上ですが、これは学校の先生が使用するタブレットのシステムで、子どもたちの出席状況や成績を確認したり、先生たちの出退勤の管理も行ったりしています。

小中学校タブレット端末の借上は、契約した時期が違いますので、2つに分かれています。小学5、6年生と中学1年生の3学年への配備が最優先でしたので、先に前倒しで契約しました。その後、残りの6学年分を契約しました。

スクールサポーターは、先生たちの補助に入るサポーターと日本語指導をするサポーターがいます。蟹江町は海部郡の中で最も外国籍の子どもが多い状況です。昨年度から各学校で1台ずつポケットという自動翻訳機を使っております。

次に生涯学習課の関係になりますが、文化財保存活用地域計画を令和2年度から3年間かけて作成しています。文化財保存活用地域計画とは、地域ごとに策定する文化財の保存と活用に関する総合的な計画で、文化財を守り、生かし、伝える体制の構築を図り、文化財の存続につなげていくというものです。こちらの計画を策定すると、今後、町が文化財に関する事業を行う際に、県などから補助金が受けやすくなるといったメリットがあります。

最後に、図書館の関係になりますが、今年度の4月に学校図書館システム整備事業が新蟹江小学校で始まりました。町立小中学校にある図書室の蔵書については、昨年度にすべてデータベースができております。実際に子どもたちに本を貸していくには、バーコードリーダーのような機器が必要になります。それらのすべてが整っているのが新蟹江小学校で、モデル校として動いています。残り4校につきましては来年の1月から始まる予定です。

(2) 町立小中学校における現況について

(教育課主幹)

令和3年度学校教育等に関する行事・事業一覧の4月から8月についてです。今年度も新型コロナウイルス感染症対策により、書面による対応や中止となっているものがございます。この先予定をしておりました須成祭等も中止となっています。学校訪問ですが、コロナ対策をしながら予定通り進んでいます。学習活動にも安全確保のために制限がありますが、先生方の指導の下に一生懸命学習に取り組んでいる子どもたちの様子が分かりました。タブレット等を効果的に取り入れた事業も各学校で見られました。今後も子どもたちの様子を掴むために学校訪問を続けます。

教育委員の会議ですが、4月から始まり、予定どおり行われています。諸会議については、海部地方教育事務協議会が4月と6月に1回ずつ、7月2日には海部南部教育委員会研修協議会が行われました。町校長・教頭会議ですが今年度から校長先生だけの会議も開催するようになっております。4月から7月まで計4回行われております。

次に生徒指導上の諸問題に関する調査結果について、暴力行為の発生件数ですが、令和2年度は小学校で生徒間で暴力がありました。高学年の案件が多かったのですが、先生方の指導により問題の解決に至っています。いじめの発生件数ですが小学校で28件、中学校で5件となっております。いじめと疑わしいものも含めてすべて報告するようにしているため、数値としては多くなってきています。これは愛知県の方針が基となっているので、いじめの発生件数は令和に入ってから多くなってきていますが、ほとんどの案件は解決の方向に進みました。いじめの解消までに至らなかった件につきましても、今年度引き続き対応を進めております。不登校の発生件数ですが、小学校は全体の内の約1%が不登校です。中学校は約3.3%が不登校です。現状の不登校についてですが、30日以上欠席した児童生徒の報告が若干挙がってきています。学校では単独ではなく複数人で組織的に対応し、専門家の意見を取り入れるなど丁寧な生徒指導を行っております。

携帯電話所有状況と利用状況調べについてですが、学年が上がるにつれて所有率が高くなっています。また、SNSはせず、電話しか使わないという生徒は学年が上がるにつれて少なくなっています。逆に、両方の機能を使う生徒は学年が上がるにつれて多くなっています。これらの傾向は昨年度と同様となっています。パソコンやスマートフォンを含めたSNS機器は学年が上がるにつれて所有率、使用率が高くなっています。保護者から申し出があり、学校に携帯電話を持ってくることを許可している児童生徒数は、特殊な家庭事情で連絡を取らなければならない場合のみ学校に携帯電話を持ってくることを許可していますが、昨年よりも増加しております。

ひとり親の家庭数調査ですが、今年度の数字は昨年度と比べて誤差の範囲で差は見られません。小中学校合わせて10人に1人がひとり親の家庭であることがわかります。

自分専用の携帯電話を週2日以上使っている生徒は、学年が上がるにつれて使用する総時間も例年同様に増加傾向にあることがわかります。

3 その他

(山田委員)

トイレの改修工事の話がありましたが、実は子どもたちから蟹江小学校のトイレが臭いという話があります。3階の西のトイレで、廊下にも臭うと思います。

(教育部次長)

今までは子どもたちが毎日掃除をしていましたが、コロナ禍なので学校が終わってから先生たちが掃除をするので回数が減っている影響だと思います。

(町長)

一度確認をお願いします。

(佐藤委員)

GIGAスクール構想について、5年をかけて行う事業を1年で実施したということで予算の面で大変だったと思いますが、実際に小中学校での様子を見させていただくと、一気に進めてよかったなという思いが強いです。コロナの対策で予算はまだまだ厳しいと思いますが、それが落ち着いた後に特別教

室のエアコンに関して大きな負担をお願いすることになりますので、よろしくお願いします。

(町長)

G I G Aスクール構想は、令和元年に政府が2,000億円以上の補正予算を計上しました。その時は5年かけて進める予定でしたが、コロナ禍の影響もあってか、政府から補助金を交付するので一気に進めてほしいと話がありました。その結果タブレットの注文が殺到して、配置できないのではという問題もありました。そのため小学5、6年生、中学1年生といった高学年を優先させていただきました。

普通教室、特別教室のエアコン設置に取り組んできました。次に必要なのは災害時に避難場所とされている体育館です。こちらは補助率が小さく億単位の予算になると思いますので、来年度の予算の動向を見て、皆さんとご相談をしながら進めていく必要があると思っておりますので、お力添えいただければと思います。

(教育長)

議会の総務民生常任委員会の委員さん方が、G I G Aスクール構想の状況を視察するという話を聞きました。実際に学校に行って、配備状況や活動状況を知りたいということで、来週の月曜日の午後に委員さんと議長が学戸小学校に行き、子どもたちの様子や今後の方向性を確認します。

(太田委員)

タブレットの金額は1年間の数字ですか。

(教育部次長)

はい。1年間です。

(町長)

これも国の予算措置がなければできませんでした。他にも問題がありまして、家庭学習をしたときにWi-Fiの環境がない家庭があったり、個人情報管理があったりするので、タブレットの貸し出しはしないことにしました。

(教育長)

将来的には持ち帰り等をできるようにするため、事務局で要綱等を作成しながら進めていきます。まだ始まったばかりですので、これから徐々に発展していきます。学校内での活用においても、1時間目から6時間目まで使っているわけではなく、先生方にも得意不得意が当然ありますので、そちらに関する教育も時間を重ねて進めていきたいと思っています。

(町長)

怖いのは国の補助を外されることです。ある程度の年数が経つと急に補助率が下がることがあるので、将来どうなるのか不安です。

(教育長)

先程のトイレの話になります。洋式のトイレが50%という話でしたが、3台あったら2台を改修して1台は和式と考えています。この前の議会でなぜ100%じゃないのかと質問がありまして、お金がかかるのもそうですが、学校が避難所になったときのことを考えています。

(教育部次長)

避難所になったときに自宅が和式だから洋式に慣れていないという意見や、座るのを嫌がる人がいることを想定して、60%を目指しています。

(町長)

話は変わりますが、昨日の新聞に弥富市で困窮家庭に生理用品を配るという記事がありました。6月

議会の代表質問で、公明党の山岸議員から生理用品の話がありました。何もしないわけではありませんが、学校に置いたらどうか、無償で配ったらどうかという発展的な要望が多いため整理が必要です。それでもまずは学校に置いてほしいとのことです。

(教育長)

既に学校には置いてあります。要望を受けているのは各トイレの個室に置いてほしいということです。今までは養護教諭が保健室で渡していましたが、養護教諭のところに恥ずかしくて行けない子がいるのではという意見を聞き、新蟹江小学校で女子トイレの鏡のあたりに置くようにしました。今は貧しい子ばかりではなく、うっかり忘れてしまったり、初めてだったりと様々な理由があります。そういったときにわざわざ保健室に行く必要がないように一つの方法として置きました。今は新蟹江小学校だけです。他の学校にも促していこうと思います。